

エポテクト タールフリー

EPOTECT TAR FREE

一般名称	ハイソリッドタールフリー変性エポキシ樹脂塗料													
適用規格	—													
系統	ポリアミド硬化ハイソリッドタールフリー変性エポキシ樹脂塗料(2液形)													
主な用途	【橋梁用】	【電力・プラント用】	【コンクリート構造物用】	など										
適用素材	<table><tr><td>鉄</td><td>亜鉛めっき</td><td>アルミ</td><td>ステンレス</td><td>コンクリート</td></tr><tr><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td></tr></table>	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート	○	×	×	×	○			
鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート										
○	×	×	×	○										
特長	1) コールタールを含まない。 2) 高固形分(ハイソリッド)タイプである。 3) 厚塗り性に優れており、1コート仕上げも可能である。 4) タールフリーなので、塗り重ね時のニジミがない。 5) 耐薬品性・耐油性が優れている。 6) 耐海水性・耐水性が優れている。 7) 強じん、たわみ性と耐摩耗性がよい。 8) 鋼板表面およびショッププライマーに対する付着性が優れている。													
塗料性状	塗料密度(比重)	1. 31(ブラック)												
	溶剤密度(比重)	0. 86												
	加熱残分	74%(ブラック)												
法令など	ベース		硬化剤											
	劇物表示 (品名・含有率)	SDSをご参照ください												
	労安法上の 表示有害物	SDSをご参照ください												
	使用有機 溶剤種別	SDSをご参照ください												
	消防法による 危険物区分	第2石油類(非水溶性)	第2石油類(非水溶性)											
	硬化剤の成分 による区分	変性ポリアミドアミン												
	ホルムアルデヒド 放散等級	—												
	ベース		硬化剤											
	荷姿	19kgセット 3.8kgセット(ブラックのみ)	17kg 3. 4kg	2kg 0. 4kg										
混合比(重量比)	ベース:硬化剤=17:2													
主な色(色相)	ブラック(N-1近似)、ブラウン(15-20B近似)													
素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。													
使用方法	調合方法	ベースに対して硬化剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加えたのち下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。												
	熟成時間	30分	※規格に規定があるものは、それに準拠してください。											
	使用シンナー	テクトEP内面用シンナー												
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~5wt% ハケ・ローラー: 0~5wt%												
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 チップNo.	10MPa(100kg/cm ²)以上、 163-619~723 (日本グレイ社製)											
上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。 製品改良のため予告なく変更することがあります。														
作成日		2014. 6. 1.		更新日	2024. 7. 25.									
ページ(1/2)														

エポテクト タールフリー

EPOTECT TAR FREE

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	120	225	360
ハケ・ローラー塗り	60	125	180

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使用時間

項目		10℃	20℃	30℃	40℃		
乾燥時間	指触	3時間	2時間	1時間	30分		
	半硬化	16時間	8時間	6時間	4時間		
標準塗装間隔 注)	最短	48時間	24時間	16時間	10時間		
	最長	10日	10日	10日	10日		
可使用時間		8時間	6時間	4時間	2時間		

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温10℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: SDジंक

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 強溶剤: —

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 弊社に問い合わせください。
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	60.4	1.7
	5	56.1	1.8
	10	52.4	1.9

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の
注意事項 1)10℃以下ではエポテクト タールフリーWを使用してください。
2)没水部に使用する場合は、最低7日間(20℃)は養生してください。
3)塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
4)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。